みんなでつくるリポジトリ -共同リポジトリ概論-

広島大学図書館 尾崎文代

fozaki@hiroshima-u.ac.jp

2009.12.17 DRF/ShaRe地域ワークショップ(兵庫)

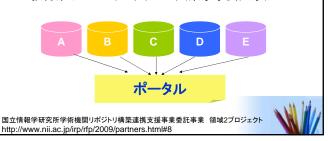
本日の話題

- 共同リポジトリとは
- 国内外の共同リポジトリ
- ShaReプロジェクト
- 共同構築の意義



複数機関リポジトリの連携

- 遺跡資料リポジトリ(島根大学ほか)
- 医学系サブジェクトリポジトリ(札幌医科大学)
- 教育系サブジェクトリポジトリ(東京学芸大学)



共同リポジトリ:モデルの構築と普及

複数機関で生産された教育研究成果等を 一つのサーバに蓄積・保存する





3

複数機関による共同リポジトリ

複数機関で生産された教育研究成果等を 一つのサーバに蓄積・保存するリポジトリ

構築費用が抑えられる 技術・ノウハウを共有できる

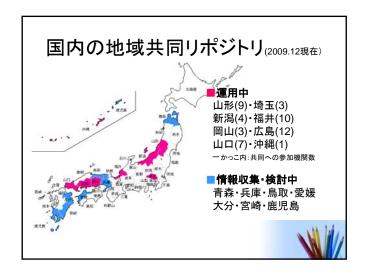
中小規模機関リポジトリ導入の障壁を除去 オープンアクセスの裾野拡大



共同リポジトリの例(ィギリス)

- White Rose Research Online
 - リーズ・シェフィールド・ヨーク大学のコンソーシアムに成立
 - 三大学で一名雇用し、全ての業務を行っている。
 - http://eprints.whiterose.ac.uk/
- SHERPA-LEAP
 - ロンドンの学術成果のショウケースとなることを目的としてロンドン大学(UCL)のサーバに各機関のコピーを作成。
 - 2009年現在、13機関。
 - http://www.sherpa-leap.ac.uk/





国内の機関リポジトリ リポジトリ数 うち共同リポジトリ 総数 国立大学 87 68 公立大学 4 (57%) 私立大学 580 38 18 (47%) 短期大学 434 7 7 (100%) 高専 64 4 4 (100%) その他 5 4 (80%) IRDBコンテンツ分析システムhttp://irdb.nii.ac.jp/より算出(参照:2009/10/18)





新潟県地域共同リポジトリ(NiRR:新潟)

- 公開:2009.7
- 参加資格:新潟県大学図書館協議会参加大学
- 参加機関数: 4
 - 新潟大学,長岡工業高等専門学校,新潟青陵大学,新潟 医療福祉大学
- 目的
 - 県内高等教育機関の情報発信促進・連携
- 運営主体:新潟大学
- http://nirr.lib.niigata-u.ac.jp/





埼玉県地域共同リポジトリ(SUCRA:埼玉)

- 公開:2008.11
- 参加資格
 - 埼玉県大学·短期大学図書館協議会加盟館
- 参加機関数
 - 埼玉大学·文教大学·城西大学
- 日的
 - 埼玉県内における機関リポジトリの普及及び新しい図書館間相互協力の 推進
 - 埼玉県の産業・文化・教育に資する地域の情報拠点の形成
- 運営主体
 - 埼玉県大学・短期大学図書館協議会・埼玉大学
- · http://sucra.saitama-u.ac.jp/modules/xoonips/

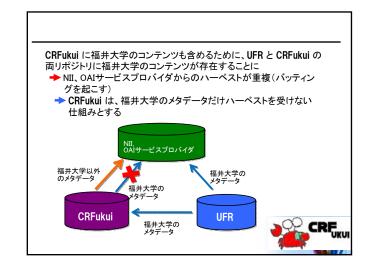




福井県地域共同リポジトリ(CRFukui:福井)

- 公開:2009.3
- 参加資格:
 - 福井県内の大学、高等専門学校、公共図書館、研究機関
- 参加機関数: 10
 - 福井大学、福井県立大学、福井工業大学、仁愛大学、仁愛女子短期大学、敦賀短期大学、福井医療短期大学、福井工業高等専門学校、福井県立図書館、福井県文書館
- 目的
 - 県内の大学等で生産された学術成果物、及び各機関で所蔵している 貴重書や広報誌等を一同に公開・発信する
- 運営主体:福井大学
- http://crf.flib.u-fukui.ac.jp/dspace/



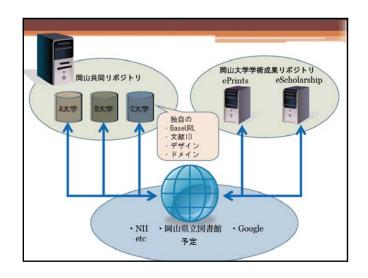


岡山共同リポジトリ(O-AIR:岡山)

- 公開:2009.1
- 参加資格:岡山県内の大学等の学術機関
- 参加機関数:3
 - 環太平洋大学·中国学園·津山工業高等専門学校
- 目的
- 県内学術機関の情報発信促進
- 運営主体:岡山大学



Okayama Academic Information Repository



広島県大学共同リポジトリ(HARP:広島)

- 公開:2008.4
- 参加資格
 - 広島県大学図書館協議会加盟館
- 参加機関数: 12
 - 尾道大学・広島国際大学・広島国際学院大学・広島女学院大学・広島 工業大学・広島市立大学・広島文化学園大学・広島文教女子大学・広 島経済大学・日本赤十字広島看護大学・比治山大学・県立広島大学
- 目的
 - 地域の活性化・社会貢献
- 運営主体
 - 広島県大学図書館協議会
- http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/





山口県大学共同リポジトリ(維新:山口)

- 公開:2009.10
- 参加資格:山口県大学図書館協議会参加館
- 参加機関数: 7
 - 山口県立大学・下関市立大学・徳山大学・梅光学院大学・山口福祉 文化大学・下関短期大学・山口大学
- 目的
 - 学術機関リポジトリの地域への普及
- 運営主体
 - 山口県大学図書館協議会
- http://ypir.lib.yamaguchi-u.ac.jp/





沖縄地域学リポジトリ(ORION:沖縄)

- 公開:2009.2
- 参加資格:
 - 沖縄県および県内市町村、公共団体など
 - 沖縄県内に所在する学会・協会・研究会など
- 参加機関数: 1
 - 沖縄農業研究会
- 目的
- 地域の活性化・社会貢献
- 運営主体
 - 琉球大学
- http://okinawa-repo.lib.u-ryukyu.ac.jp/





地域共同リポジトリの分類 1

- システム(ホスト大学との関係)
 - 同居一体型 (2) 山形·埼玉
 - 二世帯住宅型 (2) 新潟·沖縄
 - 同居店子型 (2) 岡山・山口
 - 別建管理人型 (2) 広島·福井
- システム(ソフトウェアの共有)
 - 独立型 (2) 岡山·山口
 - 共有型 (6) 山形·新潟·埼玉·福井·広島·沖縄



地域共同リポジトリの分類 2

- 運営主体
 - 県大学図書館協議会・コンソーシアム (5)
 - 大学 (3) 福井·岡山·沖縄
- 参加機関
 - 大学等教育機関のみ (6)
 - 県内学術機関も (2) 福井・沖縄
- 運用経費
 - 均等に徴収 (1) 広島
 - 当面徴収しない (7)



ShaRe(共同リポジトリ:モデルの構築と普及)

- 広島大学(代表機関)
- 山形大学
- 新潟大学

• 埼玉大学 共同リポジトリのシステムと運用モデルの改善・構築 および担当者育成を行うことで、複合的な視点から共同リポジトリの構築・運用を支援し、

• 文教大学

共同リポジトリを全国規模で普及させることで、 日本国内でのオープンアクセスの推進に寄与する。 • 福井大学

• 岡山大学

• 広島工業大学 http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/share/share.html

- 山口大学
- 長崎国際大学
- 琉球大学



共同構築の課題 1

ソフトウェアの共有に由来する課題

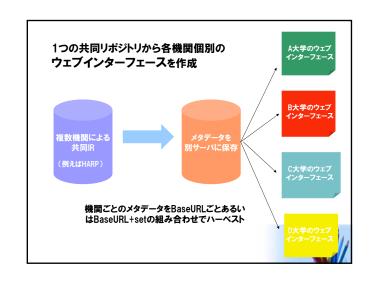
- 各機関個別のハーベスティング
- 各機関個別のアクセス統計
- 各機関個別のウェブインターフェイス



ShaReの活動 1. システム開発

- 平成20年度
 - VMware serverを用いた独立型システムモデル の構築(岡山共同リポジトリに実装)
- 平成21年度
 - 参加機関ごとのbaseURLの設定
 - 参加機関ごとのアクセス統計の取得
 - 参加機関ごとの個別画面の開発





共同構築の課題 2

- コンテンツ収集のスキル・マンパワー
- 経費
- 大学ブランドをどこまで表現できるのか
- 参加・非参加の二分化の懸念(県大図協の場合)
- 参加館の独立した場合、その後をどう考えるか



ShaReの活動 2. 担当者育成

平成20年度

日時	地域	内容	ShaReからの事例発表等
9月	埼玉	SALA幹事会	岡山大・広島市立大・広島大
10月	広島	ワークショップ	埼玉大·岡山大·山口大·長崎国際大·日赤広島看護大·山形大
11月	長崎	長崎県大図協	広島経済大-広島工業大
	新潟	新潟県大図協	広島大
	DRF4	図書館総合展	岡山大
12月	山形	ワークショップ	埼玉大・岡山大・山口大・新潟大・広島大・山形大
2月	沖縄	沖縄県大図協	広島文教女子大・文教大・広島大

ShaReの活動 2. 担当者育成

平成21年度(予定)

日時	地域	内容	ShaReからの事例発表等
7月	広島	HARP勉強会	福井大·文教大·九州工業大
8月	山口	山口県大図協	広島女学院大· 広島大
10月	埼玉	SALA研修会	広島文化学園大·新潟医療福祉大
	宮崎	宮崎県大図協	埼玉大·琉球大·広島大
11月	新潟	新潟県大図協	福井大· 広島経済大
	DRF5	図書館総合展	新潟青陵大•広島経済大
12月	兵庫	ワークショップ	広島大· 中国学園大·広島市立大
1月	宮城	ワークショップ	山形大·広島大
	鳥取	職員研修会	広島大

地域・事例発表者の拡がり



費用と労力をシェアして 機関リポジトリの構築を (HARP立ち上げ時のスローガン)



課題をシェアし、みんなで解決



大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方 について(審議のまとめ) 平成21年7月

科学技術·学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部

- 1. 電子ジャーナルの効率的な整備
- 2. 学術情報発信・流通の推進

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1282987.htm



2-2. 機関リポジトリの今後の在り方と課題

• その際、個別の大学等によっては、事務体制や技術的な問題等により、独自でリポジトリの構築・運用を行うことが難しい機関もある。したがって、こうした機関に対して、各機関が共通利用できる共用リポジトリのシステムを構築することにより、リポジトリへのコンテンツの登載や公開が容易になるような仕組みを早急に検討する必要がある。



学術クラウド(仮)

学術クラウド型サービスによるリポジトリ構想 (国立情報学研究所)

- 個々の機関や(地域)共同体が早期にリポジトリを実装するためのファシリティ (サーバ+アプリケーション)を提供
- 2. 科研費による研究成果のオープンアクセスが制度化された場合の受け皿
- 3. 平成22年度中の運用開始を想定



さいごに、共同構築の意義

- 経費・技術・ノウハウの共有
- リポジトリ構築の障壁除去
 - →オープンアクセスの拡大
- 連携強化
- サブジェクトポータル構築
 - →地域活性化•社会貢献

地域連携の新しいモデル



<i>1</i>	機関リオ ープンアクセスによ	
		個別リポジトリ
学術 クラウド	リポジトリを 核とした	地域共同リポジトリ
(仮)	コミュニティ	オープンアクセスの拡大 と、顔の見える距離での 連携強化

参考

- 森保信吾、尾崎文代. "共同リポジトリの試み一広島県大学共同リポジトリ(HARP) "大学図書館研究 vol.82 (2008)
- 中村三春 "大学コンソーシアムやまがたの活動とゆう キャンパスリポジトリ"情報管理 vol.51 no.1 (2008) http://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/51/1/51 55/ article/-char/ja
- Moyle, M. and Stockley, R. and Tonkin, S. "SHERPA-LEAP: a consortial model for the creation and support of academic institutional repositories." OCLC Systems and Services vol.23no.2 (2007) http://eprints.ucl.ac.uk/2663/1/oclc.pdf
- ShaRe 共同リポジトリ:モデルの構築と普及

http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/share/share.html

